

# 開業ノウハウ、体験談を披露

## 不動産開業支援セミナー開く

石川県宅建協会

石川県宅地建物取引業協会は4日、「不動産開業支援セミナー」を、金沢市大豆田本町の石川県不動産会館で開き、県内で不動産業の開業を考えている10人が参加した。

このセミナーは、協会が開業のノウハウや事業展開のあり方などを丁寧に説明することから、毎回好評を集めており、今年度は2回目の開催となった。

同日は人材育成委員会副委員長の山田伸一郎氏が講師を務め、不動産業界の現況や業免許取得までの流れ、同協会の事業などをわかりやすく紹介するとともに、高い成功率を誇る会員専用流通システム

「iisystem」が利用できる点など、協会加入のメリットを強調した。

また、開業者の体験談として山田氏は、知人から「世の中が不景気になるほ

報も入手できた」。同じく、人材育成委員の小林絹代氏も「協会は研修が多く、すごく勉強になり、情報交換ができる。ホームページの物件情報を毎日更新して、段々とお客さんを増やし、おかげさまで今年7月で創業10年目の節目を迎える」などと、それぞれアドバイスを送った。写真。

その後、日本政策金融公庫北陸創業支援センターの相良和孝所長が融資

制度について紹介した。ハトマークの宅建協会は、全国で約10万社、国内の宅建業者の約80%を占める国内屈指の大規模な業界団体組織。石川県においても県内宅建業者の約85%が石川県宅建協会の会員となっている。歴史ある公益社団法人として2017年度で創立50周年の節目を迎える。石川県、金沢商工会議所、日本政策金融公庫が後援した。



セミナーの様子。左から山田伸一郎氏、小林絹代氏、相良和孝氏、山田氏ら。